

2026年度4月採用分 実務従事者募集要項

1. 設置者の名称及び所在地等	社会福祉法人 榎の会 北海道札幌市厚別区厚別町下野幌 49 番地 (2025.4.1 現在；総職員数 196 名、内；女性 155 名・男性 41 名)
2. 業務を行う施設・事業について	施設 法人本部・各放課後等デイサービス事業所・地域生活支援センターえすと 事業 当法人内の各福祉事業、及び、こどもクリニック外来 (札幌市厚別区・白石区・南区) 児童発達支援センターきらめきの里や各放課後等デイサービス事業、こどもクリニック外来での実務を中心に、本プログラムで定める様々な事業の実務に触れ、業務に従事する中から事実を客観的に捉える力やその事実をエビデンスとしながらアセスメントする力、アセスメントから導き出した仮説を検証する力、個々の能力だけでなく対象者の思いを捉える力、状態や思いに沿って“やってみたら出来ちゃった”の積み重ねの中で対象者を支援する力を身に付けていきます。
3. 施設の長の氏名	理事長 三宅 誼
4. プログラムの実施責任者・指導担当	実施責任者 藤崎 知美（公認心理師 臨床発達心理士） 指導担当 藤崎 知美（公認心理師 臨床発達心理士） 武田 亜樹（公認心理師 臨床心理士）
5. プログラム開始日	2026 年 4 月 1 日
6. 選考方法	募集定員：2 名 応募条件：下記条件の何れかを満たす大学等を卒業、または、卒業見込みの者 1) 大学等で公認心理師試験受験資格に必要な 25 科目全てを修めた、又は、修める予定の者 2) 科目読み替え表、もしくは、卒業(見込み)大学への確認によって、1) に相当するとみなされることが確認できた者 ※ 応募条件に関わることは、厚生労働省から出されている情報をご確認ください。 選考の流れ： 1) 書類選考（応募書類を用いた審査） 2) 二次選考（現場実習、個人面接、筆記試験 ※書類選考通過者のみ） 1) 書類選考（応募書類の提出や選考結果の通知について） ●必要書類 ①履歴書・職務経歴書(職歴のある方のみ) ②公認心理師受験資格に関わる科目も含めた履修全科目を証明する書類 ③卒業(見込み)証明書 ④小論文（テーマ『志望動機と目指したい公認心理師像』）※1 (⑤科目読み替え表（必要な方のみ）※2) ※1 当法人の本プログラムへの応募に至るまでの経過やその動機、及び、本プログラムを経てどのような公認心理師を目指したいのか、自らの強みや弱みも踏まえながら 900～1,100 字の範囲に収まる形で論じてください。 ※2 法施行前の卒業等の理由で科目の読み替えが必要な方のみ提出となります。 ●提出方法①当法人ホームページのエントリーフォームより氏名・生年月日・メールアドレスを送信 ②封筒表面に「実務従事者応募書類在中」と朱書きした上で、必要書類を簡易書留で、当法人宛て(上記1.を参照のこと)に郵送 ●提出期限 2025 年 7 月 18 日(金)必着 ●選考結果発表 2025 年 8 月 1 日(金) ※メールで個別に通知します ※@nire.me のドメインからのメールを受信できるよう事前に設定しておいてください。 2) 二次選考 ●実習及び試験の会場 社会福祉法人 榎の会（場所等は1.を参照） ●現場実習 2025 年 8 月 25 日(月)～29 日(金)の内の1日、9:30～12:00 頃 ●筆記試験 及び 個人面接 2025 年 8 月 30 日(土)9:30～ ●結果発表 2025 年 9 月 12 日(金) メール通知後、合格者に採用書類を郵送

7. 雇用条件等	◆雇用形態：常勤採用(臨時職員) ◆就業時間：実働 7 時間 45 分 (実務スケジュールに合わせた日勤シフト制) ※勤務時間例：8:45～17:15, 9:15～17:45, 10:00～18:30 など ◆休日：週休 2 日制(月 1 回程度の土曜もしくは祝祭日の勤務あり) ※2025 年度年間休日日数 109 日 ※月 1 回の出勤以外、基本的に土日・祝祭日・年末年始休み(行事・シフト等による例外あり) ※有給休暇、育児休暇等あり(規定による) ◆給与等：170,100 円【基本給および各種手当、通勤手当は別途実費支給(上限あり)】 ※職歴等によって加算がつく場合があります ※当法人独自の奨学金制度の利用も可能 ◆通勤手当：当法人規定による ◆福利厚生：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険 ◆健康診断等：健康診断およびストレスチェックを年 1 回実施 札幌学院大学との提携 ◆科目履修：公認心理師育成の科目を履修(週 1 回 2 コマ程度、全 10 科目程度) ※科目履修は実務経験時間に含む ※科目履修に要する費用は本人の個人負担とする
8. プログラムの特色	・当法人では医療と福祉 2 分野の経験が可能であり、発達障がい、肢体不自由、重症心身、不登校、神経症圏など、様々な状態・主訴を持つ児とその保護者の育ち合いを直接支援する業務について学ぶ機会があります。 ・幼児・児童・思春期にある児、及び、その保護者への支援現場での経験を通し、目の前の事実を客観的に捉えてことばにすることや、事実をエビデンスとして論理的に思考することを重視します。これら各現場の経験から得た気づきを、指導担当者とのカンファレンス等を通して整理・昇華し、公認心理師として必要な土台を築きます。 ・3 年目には成人期の支援についても現場の中で学び、生涯発達を見通した支援やライフステージに応じた支援について学ぶことができます。 ・本法人では心理士の他に、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ヘルパーなど多くの専門職が働いていますので、多職種連携についても現場で学ぶことができます。 ・札幌学院大学大学院 臨床心理学研究科と連携・共同し、心理学等に関する専門的な知識の修得を目的として、公認心理師法施行規則第 2 条に規定する大学院の科目に相当する講義を 3 年で 10 科目ほどの単位を取得します。履修の時間もプログラムに含まれます。(履修に必要な費用は個人の負担となります)。 注意事項： ・18 歳以下の児への療育、発達支援の現場に関わることが多いプログラムです。 ・大学院の講義及び他分野実習以外は、当法人の事業や本プログラムで規定される業務に従事することが必要です。 ∴ご自身のキャリアイメージと合致しているか充分にご検討ください。 ∴ご自身のペース・関心に沿った学びを優先される方や自ら学び取ることが苦手で他者から教えを得たい方は、他のルートをご検討ください。
9. 問い合わせ先	〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌 49 番地 (TEL011-898-3929 Fax011-898-5109) 社会福祉法人 楡の会 公認心理師プログラム事務局 担当：藤崎 メールアドレス：koninshinrishi★nire.me (★を@に置き換えてください) プログラム詳細ホームページ：https://nire.or.jp/koninshinrishiprogram/ ※お問い合わせは、<u>上記アドレス宛のメール</u>、もしくは、ホームページ上の<u>問合せフォーム</u>よりお願いいたします。(電話やファックスでのお問い合わせはご遠慮ください)